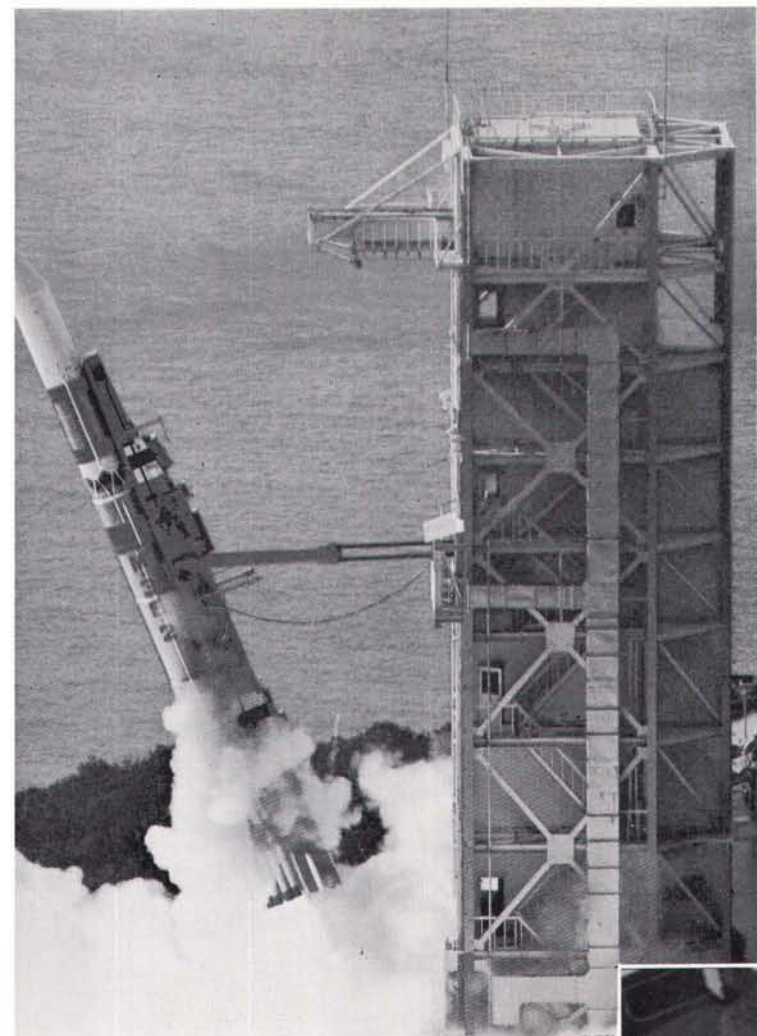


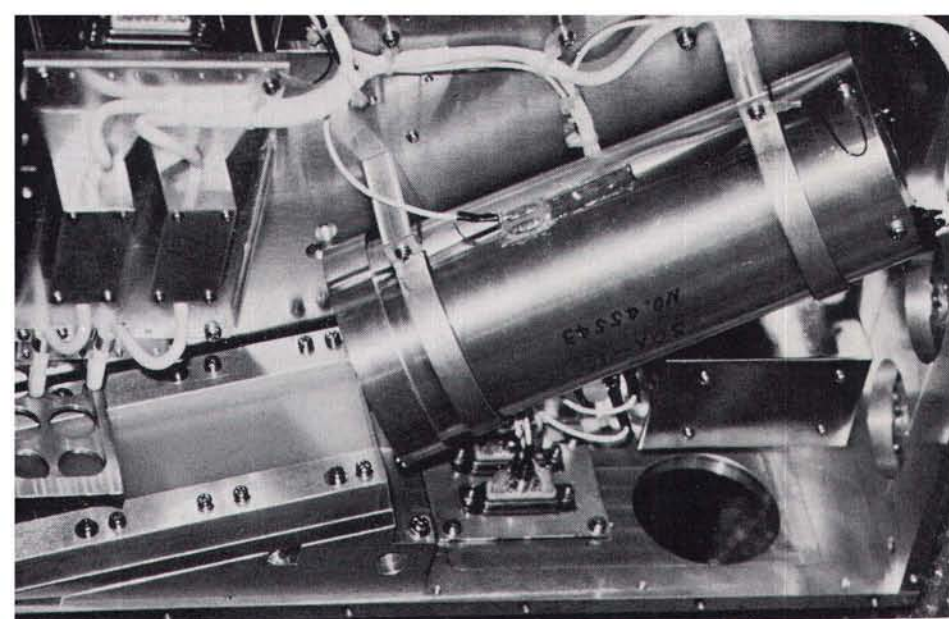
# ひのとりアルバム



◀ M-3S-2 号機「ひのとり」の発射

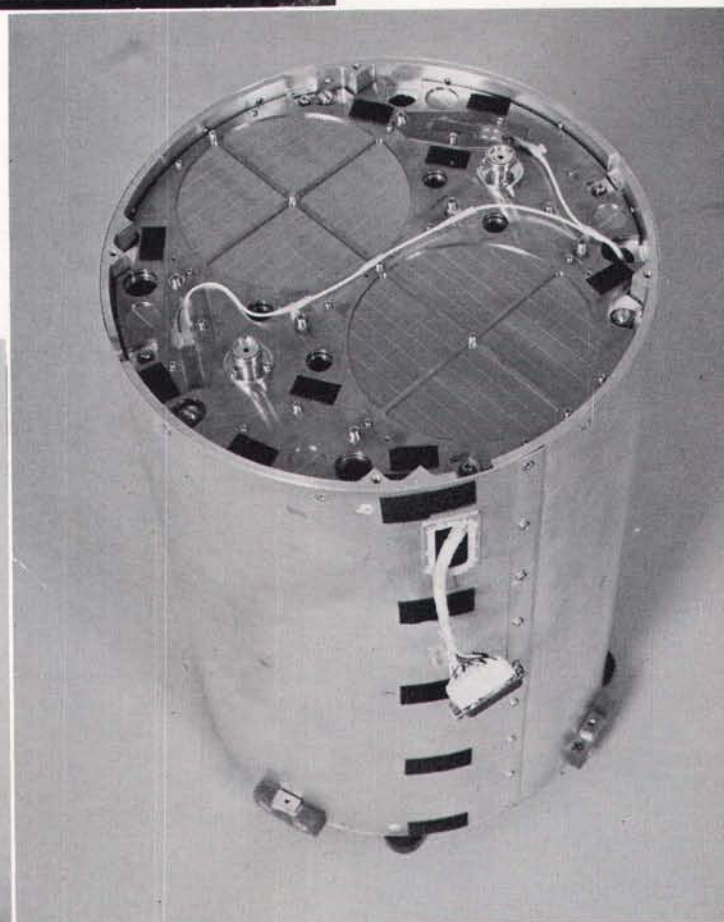
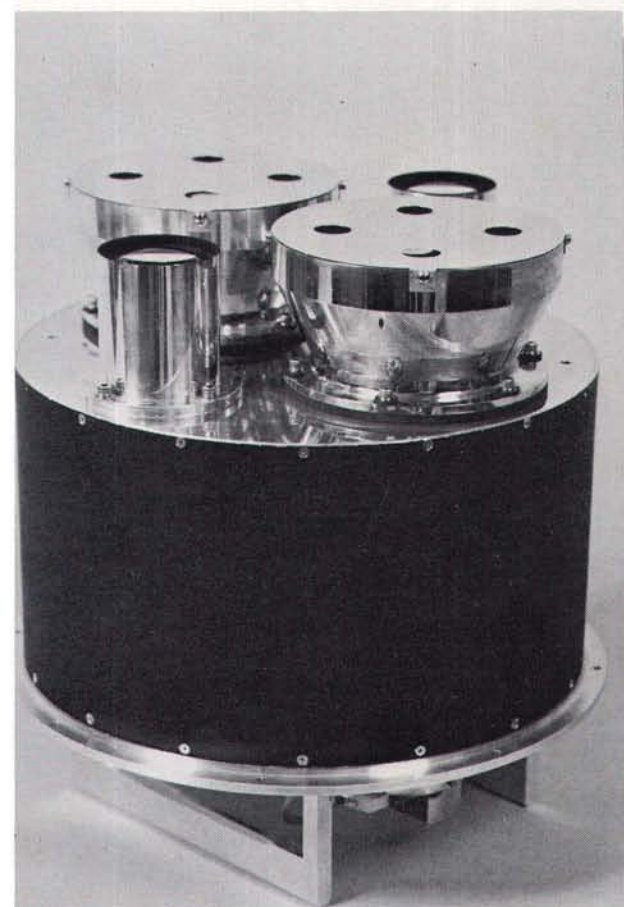
ひのとり衛星の内部。中央の大きな円筒形の部分が SXT 望遠鏡、そのまわりの上部デッキに見えているのが、SOX (軟X線スペクトル)、HXM (硬X線スペクトル)、SGR ( $\gamma$ 線スペクトル)、FLM (軟X線モニター)、その他、電気回路等である。





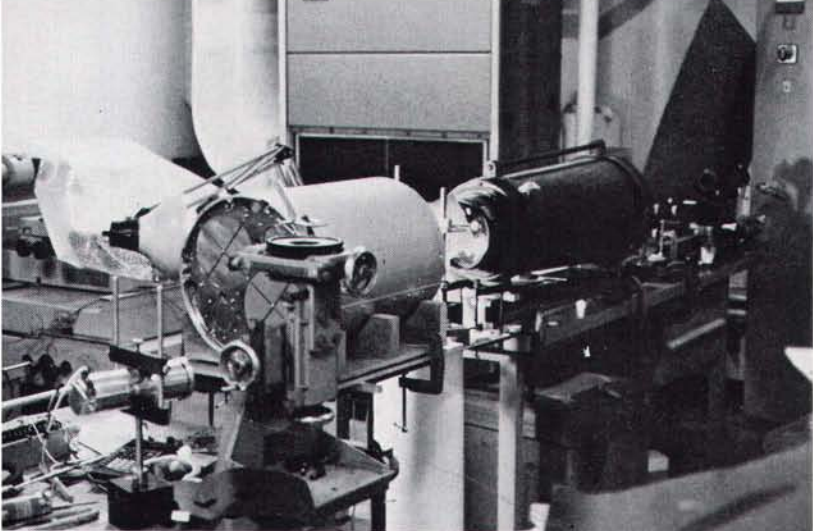
◀ 軟X線輝線スペクトル観測器  
(水晶結晶と検出器)

▼ SXT のX線検出器 (太い方の2本). 軟X線透過用の4つの穴の付いたX線フィルターを、かぶせてある. レンズの付いた細い方の筒は, SXA 光検出器,



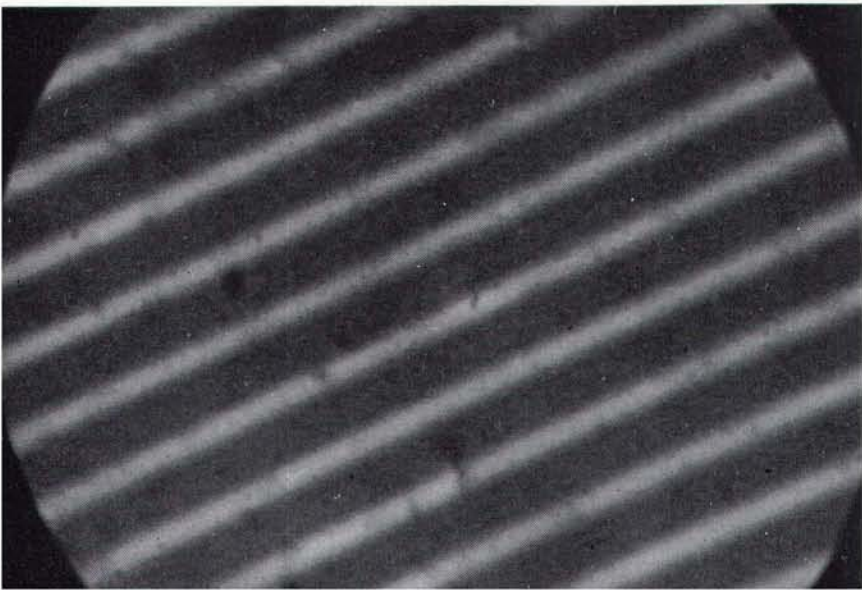
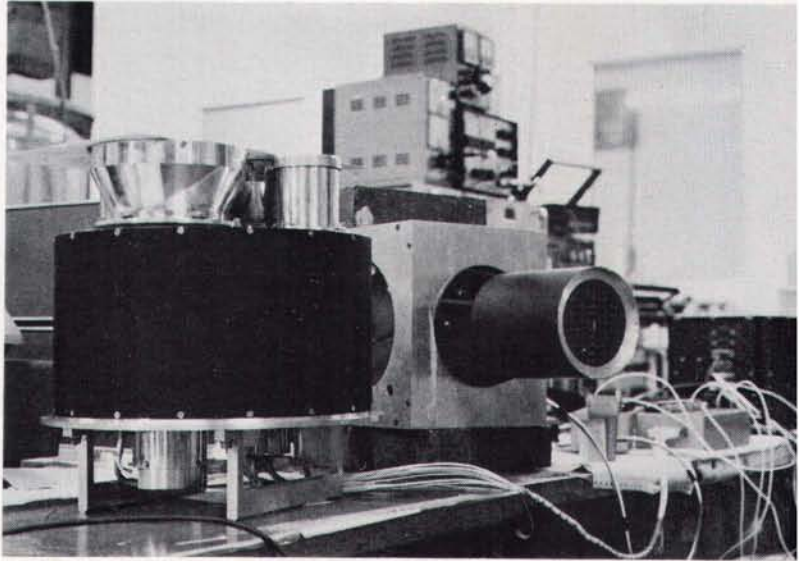
▲ SXT 望遠鏡の心臓部, 硬X線コリメータ. 上部の2つの大きな円形の部分がピッチ  $300\mu$ , 幅  $80\mu$  のスリットで構成されるスタレ. 下部にも同じものが付いている. 上面についた2つの小さな突起物が, SXA レンズ.





◀ レーザー光と白色光を用いた SXT/SXA 光軸合わせ.

最終実験データを取得中の HXM (硬 X線スペクトル) 検出器. (中央の横向きの筒.)



◀ SXT/SXA 光軸合わせの時の証拠写真. 縞模様が、白色光を硬 X線コリメータを通したときの色パターンで、このパターンのピッチが、2.16 分角. 三点に見える明るい点が、平行レーザー光による回折像.